

再生します!! 元気な桜川市!!

桜川市長 大塚秀喜



大塚市長は、10月30日9時に大和庁舎玄関前に到着。女性職員から花束を受け取り、支援者の方や市職員から大きな拍手で迎えられました。

市民の皆様、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私は、去る10月30日をもって、桜川市長として市政執行の重任を担うことになりました。今、その職責の重さを改めて感じますとともに、市民の皆様の期待の大きさに、身の引き締まる思いでございます。

私は、平成7年9月に真壁町議員として行政の一翼を担わせていただくことになり、以来、本年6月までの17年10か月にわたり、議会議員として務めさせていただきました。これもひとえに、市民の皆様のご支援の賜物でございます。

市長就任にあたりまして、市民の皆様に私の市政運営にあたっての基本的な考え方を申し上げ、深いご理解と絶大なご協力をいただきますようお願い申し上げます。

私は、市政運営にあたって「桜川市の再生のために」と「子供たちの未来のために」を政治信条に、命と健康を守る・産業を元気にする・観光に力を入れる・農業を盛り上げる、教育を充実させる、そして行

■市民の皆様の命と健康を守ります。

市政にとって、市民の命と健康を守ることは最も重要な課題であり、桜川市の地域医療再建のために、二次医療を担う県西総合病院の整備再建に取り組むとともに、高度緊急医療に対応できる「新中核病院」を建設し、この両病院を中心とした地域医療ネットワークづくりに努める考えです。

更に、高齢者・障がい者・要介護者の皆様への生活支援の充実を図ります。

■産業を元気にします。

「企業誘致課」の新設と併せて、自身のトップセールスで、工業団地への優良企業の誘致をすすめ、税収アップと地元からの雇用を創出するとともに、従業員・家族への住居支援などにより人口減少の抑制に努めます。

また、地場産業の石材産業の振興のために、桜川市ブランドの石材製品を全国各地へ売り込む考えです。

■観光に力を入れます。

つくばエクスプレスで訪れる観光客を、自然資源や歴史的文化資源・イベントなどが豊富にある桜川市に誘引する

財政の立て直しに取り組みで参ります。これらの主要政策の実現には、市民の皆様をはじめ、市議会議員の皆様並びに市職員が一体となった協力体制が不可欠であります。今後とも、皆様のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。市長就任のご挨拶といたします。



大塚市長は、初登壇後の職員訓示で「職員の方々の協力を得ながら、元気な桜川市・魅力ある桜川市をつくっていきなさい」と市職員に呼びかけました。

ため、筑波山から岩瀬駅までの路線バスの復活を働きかける一方で、つくばエクスプレスの延伸を推進し、観光のまち桜川の創出に努めます。

■農業を盛り上げます。

TPPに負けない元気な農業づくりのために、農家の皆さんやJAなどの関係団体と協力して活性化に取り組み、併せて地産地消や食育を積極的に進める考えです。

■教育を充実させます。

少子化に対応できる、学校・幼稚園の規模の適正化を検討し、統合やスクールバス運行による教育環境の充実をはかるとともに、学校施設や通学路の整備をすすめ、子供たちが元気に学べる、教育のまち桜川市にします。

■行財政を立て直します。

国や県との連携の中で、多くの行政課題や市民ニーズに対応していくための財源確保を図るとともに、事務事業の見直しなど、行政改革を止めることなく推進し、徹底した経費の節減と創意工夫に努め、偏ることのない簡素で効率的な行財政運営に努め、納税者の皆さんが安心できるよう改革を進めます。